



コールパークの設定

この章では、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) のコールパーク機能について説明します。

このモジュールで紹介する機能情報の入手方法

お使いの Cisco Unified CME のバージョンが、このモジュールで説明されている機能の一部をサポートしていないことがあります。各機能がサポートされているバージョンのリストについては、「[コールパークの機能情報](#)」(P.729) を参照してください。

内容

- 「[コールパークについて](#)」(P.711)
- 「[コールパークの設定方法](#)」(P.718)
- 「[コールパークの設定例](#)」(P.725)
- 「[次の作業](#)」(P.726)
- 「[その他の参考資料](#)」(P.727)
- 「[コールパークの機能情報](#)」(P.729)

コールパークについて

コールパークをイネーブルにするには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「[Cisco Unified CME 7.1 でのコールパークの機能拡張](#)」(P.712)
- 「[基本コールパーク](#)」(P.713)
- 「[ダイレクトコールパーク](#)」(P.714)
- 「[パーク予約グループ](#)」(P.714)
- 「[専用コールパークスロット](#)」(P.715)
- 「[コールパークブロッキング](#)」(P.716)
- 「[コールパークリダイレクト](#)」(P.717)
- 「[パークモニタリング](#)」(P.717)

Cisco Unified CME 7.1 でのコールパークの機能拡張

Cisco Unified CME 7.1 では SIP 電話のコールパークのサポートが追加され、パーク予約グループが導入され、ダイレクトコールパーク機能が強化されました。パークスロットは SCCP 電話機と SIP 電話機の間で共有できます。たとえば、SCCP 電話機でパークされたコールは、同じ Cisco Unified CME ルータの SIP 電話機で取得できます。コールパーク機能は、[パーク (Park)] ソフトキーをサポートする SCCP 電話機と SIP 電話機で使用できます。デフォルトでは、[パーク (Park)] ソフトキーはサポートされる電話機に表示されます。

表 58 に、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンと、それ以前のバージョンで、電話機ユーザがコールをパークおよび取得する方法の違いを示します。SCCP 電話機の場合、唯一の変更点はダイレクトコールパークの取得を実行する方法です。以前のバージョンの Cisco Unified CME でサポートされていたコールパーク方法は、デフォルトでイネーブルになっています。パークと取得の方法を変更できるのは、パークされているコールがない場合にだけです。

表 58 IP Phone でのコールのパークと取得

機能	Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョン (SCCP および SIP 電話機) ¹	Cisco Unified CME 7.1 よりも前のバージョン (SCCP 電話機のみ)
コールパーク (基本)	[パーク (Park)] ソフトキーを押して、コールをパークします。	[パーク (Park)] ソフトキーを押して、コールをパークします。
コールパーク取得 ²	次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> パークスロット内線番号をダイヤルします (SCCP および SIP)。 [ピック (Pickup)] ソフトキーを押して、パークスロット内線番号をダイヤルします (SCCP のみ)。 [ピック (Pickup)] ソフトキーと、コールがパークされた電話機のアスタリスク (*) を押します (SCCP のみ)。 	次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> パークスロット内線番号をダイヤルします。 [ピック (Pickup)] ソフトキーを押して、パークスロット内線番号をダイヤルします。 [ピック (Pickup)] ソフトキーと、コールがパークされた電話機のアスタリスク (*) を押します。
ダイレクトコールパーク	[転送 (Transfer)] ソフトキーを押して、パークスロット内線番号をダイヤルします。	[転送 (Transfer)] ソフトキーを押して、パークスロット内線番号をダイヤルします。
ダイレクトコールパーク取得	取得用の FAC およびパークスロット内線番号をダイヤルします。	基本コールパーク取得と同じです。

1. **call-park system application** コマンドをイネーブルにする必要があります。
2. SCCP 電話機では、**service directed-pickup** コマンドが設定されている場合 (デフォルト) にだけ、パーク取得用の [ピック (Pickup)] ソフトキーがサポートされます。そうでない場合、[ピック (Pickup)] ソフトキーではローカルグループのピックアップが開始されます。

コールパーク機能をイネーブルにするには、「[コールパークまたはダイレクトコールパークのイネーブル化](#)」(P.718) を参照してください。

基本コールパーク

コールパーク機能では、電話機のユーザが特別な内線番号で通話を保留にして、システム内の他の電話機から取得することができます。ユーザは [パーク (Park)] ソフトキーを押して、コールパークスロットと呼ばれる内線番号でコールをパークします。Cisco Unified CME は次に利用可能なコールパークスロットを選択し、電話機にその番号を表示します。その後、別の電話機のユーザがコールパークスロットの内線番号をダイヤルするとコールを取得できます。

コールパークスロットとして使用する単一の内線番号または内線番号の範囲を定義できます。各コールパークスロットには一度に1つのコールを保留にすることができるため、ユーザがパークできるコール数は作成できるスロット数と同じです。セカンダリ番号を使用してコールをグループ化する場合、パークされた順序でコールが取得されます。最も長時間パークされていたコールが、最初にコールパークスロットから取得されます。

コールで G.711 コーデックを使用している場合、またはコールでトランスコーディングされた G.729 を使用している場合、パークスロットにパークされた発信者には、保留音 (MOH) オーディオストリームが聞こえます。そうでない場合、発信者には保留トーンが聞こえます。ビジー状態のスロットでコールをパークしようとするユーザにはビジー音が聞こえます。

button m コマンドを使用してコールパークスロットをモニタボタンに割り当てることで、コールパークスロットをモニタすることもできます。モニタされているスロットにコールがパークされると、回線ステータスに「使用中」であることが示されます。モニタされているコールパークスロットにパークされたコールは、割り当てられたモニタボタンでピックアップできます。

1つの内線での使用を予約されたコールパークスロットを作成するには、最後の2桁が内線番号の最後の2桁と同じになる番号を、そのスロットに割り当てます。内線がコールのパークを開始すると、システムは最初に、最後の2桁が内線番号と同じコールパークスロットを検索します。このようなコールパークスロットが存在しない場合、システムは使用可能なコールパークスロットを選択します。

同じ内線番号を持つ複数のコールパークスロットを作成すると、特定の部門またはユーザのグループの複数のコールを基地の内線番号でパークできるようになります。たとえば、金属製品販売店で配管部門へのコールを内線番号 101 でパークし、照明部門へのコールを内線番号 102 でパークする、といったことができます。配管部門の全員が、101 にパークされたコールが自部門へのコールだということを認識し、内線番号 101 からコールをピックアップできます。複数のコールが同じコールパークスロット番号でパークされる場合、パークされた順序でピックアップされます。つまり、最も長くパークされていたコールがそのコールパークスロット番号から最初にピックアップされます。

複数のコールパークスロットで同じ内線番号を使用する場合、最後にコールが送信された **ephone-dn** を除いて、内線番号を使用する各 **ephone-dn** を **no huntstop** コマンドで設定する必要があります。さらに、各 **ephone-dn** を **preference** コマンドで設定する必要があります。**ephone-dn** の順序に合わせてプリファレンスの数値を大きくする必要があります。つまり、**ephone-dn** タグが最も小さいパークスロットは、プリファレンス番号を最も小さい数値にする必要があります。**preference** コマンドと **huntstop** コマンドを設定しなかった場合、2番めのコールがパークされた後でパークされたすべてのコールでビジー信号が生成されます。パークに転送された発信者にはビジー信号が聞こえますが、コールをパークした電話機ユーザには、コールが失われたことが通知されません。

park-slot コマンドで **timeout** キーワードを使用すると、コールをパークした内線にリマインダリングを送信できます。**timeout** キーワードと引数は、コールパークリマインダリングがタイムアウトするか、または非アクティブになる間隔の長さを設定します。**timeout** キーワードを使用しなかった場合、リマインダリングはコールがパークされた内線に送信されません。タイムアウトの間隔とリマインダリングの回数は、**limit** キーワードと引数で設定されます。たとえば、最大3回のタイムアウト間隔で2回のリマインダリングを送信します (間隔1、リング1、間隔2、リング2、間隔3)。**timeout** キーワードと **limit** キーワードおよび引数はコールがパークされたままとなる最大時間も設定します。たとえば、10秒のタイムアウト間隔と最大5回のタイムアウト間隔 (**park-slot timeout 10 limit 5**) で約50秒間コールをパークします。

notify キーワードも使用して、リマインダリングを受信する追加の内線番号を指定した場合を除いて、コールがパークされた内線だけにリマインダリングが送信されます。**notify** キーワードを使用して追加の内線番号を指定した場合、その内線の電話機ユーザが [ピック (Pickup)] ソフトキーとアスタリスク (*) キーを押と、そのスロットからコールを取得できます。

コールパーク スロットでパークされるコールのタイムアウト間隔の長さ、コールが再呼出されるか転送される前に発生するはずのタイムアウト間隔の回数の両方を定義できます。**park-slot** コマンドで転送先を指定する場合、タイムアウト間隔が過ぎた後に、パーク中の電話機のプライマリ番号ではなく、指定された転送先にコールが転送されます。

name コマンドを使用してコールパーク スロットに名前が指定されている場合、再呼び出し時または転送時に内線番号ではなく、その名前が表示されます。

また、再呼び出し先または転送先が使用中（呼び出し中または接続済み）の場合、パークされたコールの転送先の代替内線番号も指定できます。たとえば、図 25 に示すように、プライマリ内線が 2001 の電話機に対してプライベートパーク スロットでコールがパークされます。タイムアウトを過ぎると、内線番号 2001 への再呼び出しを試行しますが、その回線は別のコールに接続されます。システムはその後、コールを代替内線番号 3784 に転送します。

ダイレクトコールパーク

ダイレクトコールパーク機能では、電話機のユーザが [転送 (Transfer)] ソフトキーを使用して、コールを特定のコールパーク スロットに転送できます。たとえば、顧客が小売店にコールし、スポーツ用品部門に問い合わせを行うとします。コールに応答したオペレータは、コールをスポーツ用品部門に関連付けられたパークスロットの 1 つに転送し、コールを取得するようにスポーツ用品部門を呼び出します。ダイレクトコールパークのビジーランプフィールド (BLF) をサポートする電話機を設定すると、特定のダイレクトコールパーク スロットのビジーステータスおよびアイドルステータスをモニタできます。

Cisco Unified CME 4.0 よりも前のバージョンでは、発信者がパーク状態にするコールパーク スロット番号を直接ダイヤルできました。別のコールがすでにスロットにパークされている場合、発信者にはビジー音が聞こえます。

Cisco Unified CME 4.0 から Cisco Unified CME 7.0 では、ユーザがパークスロット内線番号をダイヤルするか、または [ピック (Pickup)] ソフトキーを使用してパークスロット内線番号をダイヤルすることによって、ダイレクトコールパーク スロットからコールを取得します。スロットにパークされているコールがない場合、発信者にはビジー音が聞こえます。

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、ユーザは機能アクセスコード (FAC) とコールパーク スロットの番号をダイヤルして、ダイレクトコールパーク スロットからコールを取得します。

Cisco Unified CME はリモート電話機からのダイレクトコールパークをサポートしますが、ダイレクトコールパーク スロットに対してローカルな電話機だけがコールを取得できます。

パーク予約グループ

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、パーク予約グループを使用してコールパーク スロットにオーナーシップを割り当てることができます。パーク予約グループが設定されたパーク スロットは、同じパーク予約グループが設定された電話機だけで使用できます。パーク予約グループがないパーク スロットは、パーク予約グループに割り当てられていない電話機で使用できます。

Cisco Unified CME 7.1 よりも前のバージョンでは、プライマリ回線に基づいて特定の電話機用の専用コールパーク スロットを予約できました。その電話機のすべての回線で専用パーク スロットを使用できました。Cisco Unified CME 7.1 の新しいパーク予約グループ機能では、専用パーク スロットの使用に代わり、拡張されたパーク スロット予約方法が提供されます。

パーク予約グループは、ダイレクトコールパークスロットに対してはサポートされません。



(注) 予約グループは、予約グループを持つ電話機で同じ予約グループ内のパークスロットにパークできるようにするために使用されます。同じCME内のどの電話機でも、パークされたコールを取得できます。したがって、コールを取得するときではなく、コールパークするときにルールが適用されます。

専用コールパークスロット

ephone に専用のプライベートコールパークスロットを設定するには、**park-slot** コマンドで **reserved-for** キーワードを使用します。専用コールパークスロットは電話機のプライマリ内線番号に関連付けられます。この電話機のすべての内線番号で、専用パークスロットにコールをパークできます。この電話機の内線番号は、専用パークスロット内のコールをパークできる内線番号だけになります。パークスロットに一度にパークできるコールは1つだけです。すでに使用中のスロット内にコールをパークしようとする、ビジー音が返されます。

次のいずれかの方法を使用して、専用コールパークスロットにコールをパークできます（パークを行う内線番号は、プライマリ内線番号が専用パークスロットに関連付けられた電話機の内線番号にする必要があります）。

- アクティブコールで、IP Phone のユーザは [パーク (Park)] ソフトキーを押します。
- アクティブコールで、IP Phone のユーザは [転送 (Transfer)] ソフトキーおよびコールパーク機能の標準またはカスタム FAC（機能アクセスコード）を押します。コールパークの標準 FAC は **6 です。
- アクティブコールで、アナログ電話機のユーザはフラッシュフックおよびコールパーク機能の標準またはカスタム FAC（機能アクセスコード）を押します。

次のいずれかの方法を使用して、専用コールパークスロットからコールを取得できます。

- IP Phone のユーザは [ピックアップ (Pickup)] ソフトキーを押し、パークスロット番号をダイヤルします。
- IP Phone のユーザは [発信 (New Call)] ソフトキーを押し、パークスロット番号をダイヤルします。
- アナログ電話機のユーザはハンドセットを持ち上げ、ダイレクトコールピックアップの標準またはカスタム FAC を押し、パークスロット番号をダイヤルします。ダイレクトピックアップの標準 FAC は **5 です。

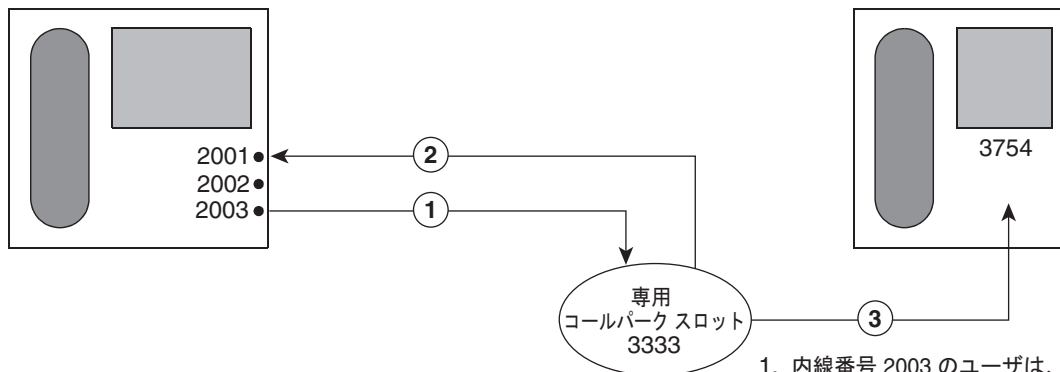
コールをパークしようとしている ephone-dn の専用パークスロットが Cisco Unified CME システム内のどこにも見つからない場合、システムは標準コールパーク手順を使用します。つまり、システムは（コールをパーク使用としている ephone-dn の最後の 2 桁と一致する ephone-dn 番号の）優先されるパークスロットを検索し、見つからない場合は、使用可能なコールパークスロットを使用します。

図 25 に、専用コールパークスロットの例を示します。

タイムアウト間隔が過ぎた後にコールを再呼び出しする必要があることが設定で指定されている場合、電話機の内線番号がパークを行うかどうかに関係なく、コールは常に電話機のプライマリ内線番号に返されます。図 25 に、内線番号 2001、2002、および 2003 で設定される ephone、および内線番号 3333 のプライベートコールパークスロットを示します。プライベートパークスロットは、パークされたコールのタイムアウトが過ぎると、パーク中の電話機へのコールを再呼び出しように設定されています。この例では、[パーク (Park)] ソフトキーを使用して、内線番号 2003 でコールをパークします。タイムアウト間隔が過ぎると、内線番号 2001 で呼び出し音が鳴ります。

図 25 の設定では、60 秒のタイムアウトが 3 回過ぎたら（180 秒後に）、コールを再コールするか、パーク スロットから転送することが指定されています。また、3 回のタイムアウトが過ぎる前に、電話機はパークされたコールがあることを示すアラーム通知を受信します。アラームは、60 秒のタイムアウト間隔が過ぎるたびに（60 秒後と 120 秒後）送信されます。コールを単にパークし、リマインダリングを送信せずに再呼び出しするか、または転送するように、最大回数が 1 回になるように **timeout** コマンドを設定することもできます。

図 25 専用コールパークの例



```

ephone-dn 1
 number 2001

ephone-dn 2
 number 2002

ephone-dn 3
 number 2003

ephone-dn 4
 number 3333
 name Park 2001
 park-slot reserved-for 2001 timeout 60 limit 3 recall alternate 3754

ephone 2
 button 1:1 2:2 3:3
    
```

1. 内線番号 2003 のユーザは、[パーク (Park)] ソフトキーを使用してコールをパークする。
2. 60 秒ずつ 3 回の間隔後に、コールは、電話機のプライマリ番号、2001 に再コールされる。
3. 2001 がビジーの場合、コールは 3754 に転送される。

135130

コールパーク ブロッキング

Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョンでは、**transfer-park blocked** コマンドを使用して、個々の ephone がコールパーク スロットに転送されるのを防ぐことができます。このコマンドは、[パーク (Park)] ソフトキーだけを使用するコールパークを許可しながら、[転送 (Transfer)] ソフトキーおよびコールパーク スロット番号を使用するパークへの転送を防止します。([パーク (Park)] ソフトキーの使用を防止するには、ephone テンプレートを使用して電話機から削除します。「ソフトキーのスタマイズ」(P.1353) を参照してください)。

例外は、予約された、または専用のパーク スロットがある電話機の場合です。専用パーク スロットがある ephone で **transfer-park blocked** コマンドが使用される場合、電話機が電話機の専用パーク スロット以外のパーク スロットでのコールのパークからブロックされますが、専用パーク スロットでのコールのパークは可能です。

コールパーク リダイレクト

デフォルトでは、コールパーク機能を使用する H.323 コールおよび SIP コールがヘアピン コール自動転送またはヘアピン転送を使用して、コールをパークするか、またはパークからのコールをピックアップします。**call-park system redirect** コマンドでは、これらのコールで H.450 または SIP Refer 方式のコール自動転送またはコール転送を使用するように指定できます。このコマンドの **no** 形式を使用すると、システムがデフォルトの動作に戻ります。

パーク モニタリング

In Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョンでは、パーク モニタリング機能で、パーク中のコールが取得または破棄されるまでコールをパークし、パーク中のコールのステータスをモニタすることができます。Cisco Unified SIP IP Phone 8961、9951、または 9971 は [パーク (Park)] ソフトキーを使用してコールをパークし、パーク モニタリング機能はパーク中のコールのステータスをモニタします。パーク中のコールが取得されるか、またはパーク取得者によって破棄されるまで、パーク モニタリング コール バブルはクリアされません。このパーク中のコールは、パーク元の電話機で同じコール バブルを使用して取得でき、パーク中のコールのステータスをモニタできます。

コールがパークされると、Cisco Unified CME は SIP NOTIFY メッセージをパーク元の電話機に送信します。このメッセージは、コールがパークされている間にパーク元の電話機でパーク スロット番号を表示できるように、「パークされた」イベントとパーク スロット番号を示します。

パーク中のコールが取得されると、Cisco Unified CME は別の SIP NOTIFY メッセージをパーク元の電話機に送信します。このメッセージは、この電話機でコール バブルをクリアできるように、「取得された」イベントを示します。パーク中のコールが取得者によって接続解除されると、Cisco Unified CME は SIP NOTIFY メッセージをパーク元の電話機に送信します。このメッセージは、「破棄された」イベントを示し、パーク元の電話機はパーク中のコールのキャンセル時にコール バブルをクリアします。

パーク中のコールが再呼出または転送されると、Cisco Unified CME は SIP NOTIFY メッセージをパーク元の電話機に送信します。このメッセージは、パーク元の電話機でパーク、再呼出、および転送の実行時にコール バブルをクリアできるように、「転送された」イベントを示します。また、パーク元の電話機から直接コール バブルを選択するか、または電話機で [復帰 (Resume)] ソフトキーを押して、パーク中のコールを取得できます。

コールパークの設定方法

ここでは、次の作業について説明します。

- 「コールパークまたはダイレクトコールパークのイネーブル化」 (P.718)
- 「コールパークの確認」 (P.724)
- 「コールパークのトラブルシューティング」 (P.724)

コールパークまたはダイレクトコールパークのイネーブル化

SCCP 電話機または SIP 電話機でコールパークをイネーブルにするには、次の手順を実行します。

前提条件

- SIP 電話機では、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンが必要。
- IP Phone が [パーク (Park)] ソフトキーをサポートしていること。デフォルトでは、サポートされる SCCP 電話機および SIP 電話機に [パーク (Park)] ソフトキーが表示されます。以前ディスプレイにした場合は、**softkeys connected** コマンドを使用して [パーク (Park)] ソフトキーをイネーブルにする必要があります。

制約事項

- SIP 電話機の場合、Cisco Unified IP Phone 7905、7912、7921、7940、または 7960 には [パーク (Park)] ソフトキーがサポートされていません。
- パーク取得はローカル電話だけでサポートされます。電話機で別の Cisco Unified CME ルータへリモートにコールをパークできますが、コールパーク スロットをホストしているローカルルータに登録された電話機だけがコールを取得できます。
- Cisco Unified CME 7.1 よりも前のバージョンでは、コールパークとダイレクトコールパークで同じコールパーク スロットを共有していました。Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、ダイレクトコールパークを使用している場合、ユーザがコールを基本パーク スロットに転送しようとする、Cisco Unified CME はパーク取得であると見なします。
- ユーザは SCCP 電話機でパークされたコールを取得できます。[ピック (Pickup)] ソフトキーを押してコールパーク スロットの内線番号をダイヤルするか、**service directed-pickup** コマンドがイネーブルになっている場合 (デフォルト) だけはアスタリスク (*) をダイヤルします。そうでない場合、これによってローカルグループピックアップが開始されます。
- ダイレクトコールパークでは、パーク予約グループがサポートされません。
- 同じ内線番号の異なるディレクトリ電話番号で、コールパーク設定が同じになっている必要があります。
- H.323 トランクからのコールは、SIP 電話機ではサポートされません。
- **call-park system application** コマンドでは、保留ピックアップがサポートされません。

手順の概要


1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**

4. **call-park system** {**application** | **redirect**}
5. **fac** {**standard** | **custom dpark-retrieval** *custom-fac*}
6. **exit**
7. **ephone-dn** *dn-tag*
8. **number** *number*
9. **park-slot** [**directed**] [**reservation-group** *group-number*] [**reserved-for** *extension-number*] [[**timeout** *seconds* **limit** *count*] [**notify** *extension-number* [**only**]]] [**recall**] [**transfer** *extension-number*] [**alternate** *extension-number*] [**retry** *seconds* **limit** *count*]]
10. **exit**
11. **ephone** *phone-tag*
または
voice register pool *phone-tag*
12. **park reservation-group** *group-number*
13. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none"> プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	telephony-service 例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ4	call-park system { application redirect }	コールパーク機能のシステム パラメータを定義します。 <ul style="list-style-type: none"> application : Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされるコールパーク機能およびダイレクトコールパーク機能をイネーブルにします。 redirect : H.450 または SIP Refer 方式のコール自動転送またはコール転送を使用して、コールのパークやパークからのコールのピックアップを行う H.323 コールおよび SIP コールを指定します。

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ5 fac {standard custom dpark-retrieval custom-fac}</p> <p>例: Router(config-telephony)# fac custom dpark-retrieval #25</p>	<p>SCCP 電話機と SIP 電話機で、標準 FAC をイネーブルにするか、あるいはダイレクトパーク取得機能のカスタム FAC エイリアスを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、このコマンドをイネーブルにして、ダイレクトパーク取得機能を使用できます。 • standard : すべての電話機に対して、標準 FAC をイネーブルにします。パーク取得の標準 FAC は **10 です。 • custom : 機能のカスタム FAC を作成します。 • custom-fac : IP Phone またはアナログ電話機でキーパッドを使用してダイヤルするユーザ定義のコード。カスタム FAC には、0 ~ 9 の数字と * および # を含めて、最大 256 文字を指定できます。
<p>ステップ6 exit</p> <p>例: Router(config-telephony)# exit</p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>
<p>ステップ7 ephone-dn dn-tag [dual-line]</p> <p>例: Router(config)# ephone-dn 1</p>	<p>ephone dn コンフィギュレーションモードを開始して、IP Phone、インターコム回線、音声ポート、または Message Waiting Indicator (MWI) のディレクトリ番号を定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • dn-tag : 設定タスク中の特定のディレクトリ番号を指定します。範囲は 1 からルータのプラットフォームで許可されるディレクトリ番号の最大数までです。範囲を表示するには、? と入力します。
<p>ステップ8 number number [secondary number] [no-reg [both primary]]</p> <p>例: Router(config-ephone-dn)# number 3001</p>	<p>内線番号をこのディレクトリ番号に関連付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • number : 内線または E.164 電話番号を示す最大 16 桁の文字列。 <p>(注) プライマリ番号はコールパークスロットで一意にする必要があります。</p>

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ9 <code>park-slot</code> [<code>directed</code>] [<code>reservation-group group-number</code>] [<code>reserved-for extension-number</code>] [[<code>timeout seconds limit count</code>] [<code>notify extension-number [only]</code>] [<code>recall</code>] [<code>transfer extension-number</code>] [<code>alternate extension-number</code>] [<code>retry seconds limit count</code>]]</p> <p>例: Router(config-ephone-dn)# park-slot directed</p>	<p>コールを一時的に保留にする（パークする）内線番号（コールパーク スロット）を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • directed : (任意) この内線番号を使用して、ダイレクトコールパークをイネーブルにします。このキーワードはCisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされています。 • reservation-group group-number : (任意) このスロットを、指定された予約グループ付きで設定された電話機のために予約します。これは、ステップ 12 で電話機に割り当てられたグループです。このキーワードは Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされています。 • reserved-for extension-number : (任意) このスロットをプライベートパーク スロットとして、プライマリ回線として指定された内線番号付きの電話機のために予約します。 <p> (注) reservation-group キーワードと reserved-for キーワードは相互に排他的です。reservation-group キーワードを使用した場合、reserved-for キーワードは無視されません。</p> <p>予約グループは、予約グループを持つ電話機で同じ予約グループ内のパークスロットにパークできるようにするために使用されます。同じ CME 内のどの電話機でも、パークされたコールを取得できます。したがって、コールを取得するときではなく、コールパークするときにルールが適用されます。</p>
<p>ステップ10 <code>exit</code></p> <p>例: Router(config-ephone-dn)# exit</p>	<p>コンフィギュレーション モードを終了します。</p>
<p>ステップ11 <code>ephone phone-tag</code> または <code>voice register pool phone-tag</code></p> <p>例: Router(config)# ephone 1 または Router(config)# voice register pool 1</p>	<p><code>ephone</code> コンフィギュレーション モードを開始して、SCCP 電話機の電話機固有のパラメータを設定します。</p> <p>または</p> <p>音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • phone-tag : 電話機を識別する一意のシーケンス番号。範囲はバージョンとプラットフォームに依存します。範囲を表示するには、? と入力します。

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ12 <code>park reservation-group group-number</code></p> <p>例: Router(config-ephone)# park reservation-group 1 または Router(config-register-pool)# park reservation-group 1</p>	<p>(任意) コールパーク予約グループを電話機に割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>group-number</code> : 予約グループを識別する一意の番号。文字列には最大 32 桁を指定できます。 • このコマンドは ephone テンプレート コンフィギュレーション モードまたは音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードで設定し、1 台または複数の電話機に適用することができます。電話機の設定はテンプレートの設定よりも優先されます。 • このコマンドは Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされます。
<p>ステップ13 <code>end</code></p> <p>例: Router(config-ephone)# end または Router(config-register-pool)# end</p>	<p>コンフィギュレーション モードを終了します。</p>

例

基本コールパーク

次に、SCCP 電話機または SIP 電話機で使用できる 3 つの基本コールパーク スロットの例を示します。任意の電話機で、これらの内線番号でパークされたコールを取得できます。

```
ephone-dn 23
 number 8123
 park-slot timeout 10 limit 2 recall
 description park slot for Sales
!
ephone-dn 24
 number 8124
 park-slot timeout 10 limit 2 recall
 description park slot for Sales
!
ephone-dn 25
 number 8125
 park-slot timeout 15 limit 3 recall retry 10 limit 2
 description park slot for Service
```

ダイレクトコールパーク

次に、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンの拡張されたコールパーク機能およびダイレクトコールパーク機能が、**telephony service** コンフィギュレーション モードで **call-park system application** コマンドによってイネーブルになる例を示します。内線番号が 3110 と 3111 の 2 つのコールパーク スロットは、ダイレクトコールパークを使用する薬局へのコールをパークするために使用できます。

```
telephony-service
 load 7960-7940 P00308000500
 max-ephones 100
 max-dn 240
 ip source-address 10.7.0.1 port 2000
 cnf-file location flash:
 cnf-file perphone
```

```
voicemail 8900
max-conferences 8 gain -6
call-park system application
transfer-system full-consult
fac standard
create cnf-files version-stamp 7960 Sep 25 2007 21:25:47
!
!
ephone-dn 10
  number 3110
  park-slot directed
  description park-slot for Pharmacy
!
ephone-dn 11
  number 3111
  park-slot directed
  description park-slot for Pharmacy
```

パーク予約グループ

次に、2つのコールパークスロットに設定されるパーク予約グループの例を示します。内線番号 8126 は、グループ 1 のために設定され、電話機 3 および 4 に割り当てられます。内線番号 8127 は、グループ 2 のために設定され、電話機 10 および 11 に割り当てられます。薬局へのコールが内線 8126 でパークされ、電話機 3 と 4 で取得できます。

```
ephone-dn 26
  number 8126
  park-slot reservation-group 1 timeout 15 limit 2 transfer 8100
  description park slot for Pharmacy
!
ephone-dn 27
  number 8127
  park-slot reservation-group 2 timeout 15 limit 2 transfer 8100
  description park slot for Auto
!
!
ephone 3
  park reservation-group 1
  mac-address 002D.264E.54FA
  type 7962
  button 1:3
!
!
ephone 4
  park reservation-group 1
  mac-address 0030.94C3.053E
  type 7962
  button 1:4
!
!
ephone 10
  park reservation-group 2
  mac-address 00E1.CB13.0395
  type 7960
  button 1:10
!
!
ephone 11
  park reservation-group 2
  mac-address 0016.9DEF.1A70
  type 7960
  button 1:11
```

コールパークの確認

- ステップ 1** **show running-config** コマンドを使用して、設定を確認します。出力の **ephone-dn** の部分にコールパーク スロットが一覧表示されます。

```
Router# show running-config

!
ephone-dn 23
  number 853
  park-slot timeout 10 limit 1 recall
  description park slot for Sales
!
!
ephone-dn 24
  number 8126
  park-slot reserved-for 126 timeout 10 limit 1 transfer 8145
!
!
ephone-dn 25
  number 8121 secondary 121
  park-slot reserved-for 121 timeout 30 limit 1 transfer 8145
!
!
ephone-dn 26
  number 8136 secondary 136
  park-slot reserved-for 136 timeout 10 limit 1 recall
!
!
ephone-dn 30 dual-line
  number 451 secondary 501
  preference 10
  huntstop channel
!
!
ephone-dn 31 dual-line
  number 452 secondary 502
  preference 10
  huntstop channel
!
```

- ステップ 2** **show telephony-service ephone-dn** コマンドを使用して、コールパークの設定情報を表示します。

```
Router# show telephony-service ephone-dn

ephone-dn 26
  number 8136 secondary 136
  park-slot reserved-for 136 timeout 10 limit 1 recall
```

コールパークのトラブルシューティング

- ステップ 1** **show ephone-dn park**

このコマンドを使用して、設定されたコールパーク スロットとそのステータスを表示します。

```
Router# show ephone-dn park

DN 50 (1560) park-slot state IDLE
Notify to () timeout 30 limit 10
```

- ステップ 2** `debug ephone` コマンドを使用して、`ephone` に関連するメッセージおよび状態を調べます。詳細については、『[Cisco Unified CME Command Reference](#)』を参照してください。
-

コールパークの設定例

この項では、次の例について説明します。

- 「基本コールパーク：例」(P.725)
- 「コールパークを使用してブロックされた電話機：例」(P.725)
- 「コールパーク リダイレクト：例」(P.726)

基本コールパーク：例

次に、番号が 1560 のコールパーク スロットを作成する例を示します。コールがこの番号でパークされた後、システムはコールがパークされた内線番号に対して 30 秒の間隔で 10 回のリマインダリングを送信します。

```
ephone-dn 50
 number 1560
 park-slot timeout 30 limit 10
```

コールパークを使用してブロックされた電話機：例

次に、`ephone 25` および内線番号 234、235、および 236 に対してコールパーク スロットでコールがパークされるのを防ぐ例を示します。

```
ephone-dn 11
 number 234

ephone-dn 12
 number 235

ephone-dn 13
 number 236

ephone 25
 button 1:11 2:12 3:13
 transfer-park blocked
```


次に、ephone 6 で内線番号に専用パーク スロットを設定し、その電話機の内線番号 2977、2978、および 2979 からのコールパークへの転送をブロックする例を示します。これらの内線番号では、[パーク (Park)] ソフトキーまたは [転送 (Transfer)] ソフトキーおよびコールパークの FAC を使用して、電話機の専用パーク スロットでコールをパークすることはできません。

```
ephone-dn 3
  number 2558
  name Park 2977
  park-slot reserved-for 2977 timeout 60 limit 3 recall alternate 3754

ephone-dn 4
  number 2977

ephone-dn 5
  number 2978

ephone-dn 6
  number 2979

ephone 6
  button 1:4 2:5 3:6
  transfer-park blocked
```

コールパーク リダイレクト : 例

次に、パークされる H.323 コールおよび SIP コールが、パークされるかピックアップされるときに H.450 または SIP Refer 方式を使用するように指定する例を示します。

```
telephony-service
  call-park system redirect
```

次の作業

[パーク (Park)] ソフトキー使用の制御

キー表示を削除せずに、コールパーク ([パーク (Park)]) ソフトキーの機能をブロックするには、**features blocked** コマンドが含まれている ephone テンプレートを作成および適用します。詳細については、「[ソフトキーのカスタマイズ](#)」(P.1353) を参照してください。

1 台または複数の電話機からコールパーク ([パーク (Park)]) ソフトキーを削除するには、該当する **softkeys** コマンドを含が込まれている ephone テンプレートを作成および適用します。詳細については、「[ソフトキーのカスタマイズ](#)」(P.1353) を参照してください。

ephone テンプレート

コールパーク スロットへの転送をブロックする **transfer-park blocked** コマンドは、個々の ephone に適用される ephone テンプレートに含めることができます。

[パーク (Park)] ソフトキーは、ephone テンプレートに適切な **softkeys** コマンドを含め、そのテンプレートを個々の ephone に適用することによって表示から削除できます。

詳細については、「[テンプレートの作成](#)」(P.1543) を参照してください。

機能アクセスコード

システムに対して標準またはカスタム FAC がイネーブルになっている場合、電話機のソフトキーの代わりに機能アクセスコード (FAC) を使用してコールをパークできます。コールパーク FAC はコールパークスロットへの転送であると見なされるため、[転送 (Transfer)] ソフトキー (IP Phone の場合) またはフックフラッシュ (アナログ電話機の場合) を使用して転送を開始した後だけ有効になります。次に、コールパークの標準 FAC を示します。

- 専用パークスロット：標準 FAC は **6 です。
- 使用可能な任意のパークスロット：標準 FAC **6 とオプションのパークスロット番号です。

FAC の詳細については、「[ソフトキーのカスタマイズ](#)」(P.1353) を参照してください。

その他の参考資料

次の各項では、Cisco Unified CME 機能に関連するその他の資料について説明します。

関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified CME の設定	<ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco Unified CME Command Reference』 • 『Cisco Unified CME Documentation Roadmap』
Cisco IOS コマンド	<ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco IOS Voice Command Reference』 • 『Cisco IOS Software Releases 12.4T Command References』
Cisco IOS の設定	<ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco IOS Voice Configuration Library』 • 『Cisco IOS Software Releases 12.4T Configuration Guides』
Cisco Unified CME 用の電話機のマニュアル	<ul style="list-style-type: none"> • 『User Documentation for Cisco Unified IP Phones』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none">・テクニカル サポートを受ける・ソフトウェアをダウンロードする・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける・ツールおよびリソースへアクセスする<ul style="list-style-type: none">- Product Alert の受信登録- Field Notice の受信登録- Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する・トレーニング リソースへアクセスする・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</p>

コールパークの機能情報

表 59 に、このモジュールで説明した機能、およびバージョンごとの拡張機能を示します。

特定の Cisco Unified CME バージョンをサポートするための適切な Cisco IOS リリースを判断するには、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm にある『Cisco Unified CME and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator では、特定のソフトウェア リリース、フィチャ セット、またはプラットフォームをサポートしている Cisco IOS ソフトウェア イメージを確認できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 59 には、特定の機能に対するサポートを導入した Cisco Unified CME のバージョンが示されています。特に明記されていない限り、Cisco Unified CME ソフトウェアの後続のバージョンでもこの機能をサポートします。

表 59 コールパークの機能情報

機能名	Cisco Unified CME バージョン	機能情報
コールパーク	8.5	パーク モニタのサポートが導入されました。
	7.1	SIP 電話機のコールパークのサポートが追加され、パーク予約グループが導入され、ダイレクトコールパークが強化されました。
	4.0	専用コールパーク スロット、代替再コール場所、コールパークのブロックが導入されました。スロットへのパークを試行するのではなく、パークされたコールのピックアップを試行しようとする、パーク スロットへのダイレクトコールが中断されるようになりました。
	3.2.1	コールパーク スロットのモニタリングが導入されました。
	3.1	コールパークが導入されました。

